

グループホーム暖らん 令和7年度第1回 運営推進会議

日時：令和7年5月28日（水曜） 15時00分～

出席者（敬称を略させていただきます）

民生児童委員

地域委員

出雲市高齢者福祉課

出雲市高齢者あんしん支援センター

理事長

管理者

1. 利用状況（5月28日現在）

○ 現入居者 9名（定員9名）

年齢別

前回：平均 90.2 歳

今回：平均 90.1 歳

	男	女
70歳代	0	1
80歳代	0	1
90歳代	2	5

要介護度別

前回：平均 3.0

今回：平均 2.9

	男	女
要介護1	1	0
要介護2	0	4
要介護3	0	1
要介護4	1	0
要介護5	0	2

5月にご利用者A様が入居されました。80歳代女性で入所当初は緊張されている様子が見られましたが徐々に慣れてこられ、現在は穏やかに過ごされています。B様が体調面の悪化のためA病院に急遽入院されましたが、バルンカテーテルが留置されて様態が安定し退院されました。季節の変わり目のためご利用者の体調の変化に注意し、穏やかに生活していただけるよう配慮してまいります。温かくなってきたため外出行事も少しずつ増やしていき、季節を感じていただければと思います。

○ 利用待機者 8名

新規の申し込み希望がありました。問い合わせも随時対応しております。

2. 令和6年度外部評価制度について

1月31日の暖らん職員会議にて外部評価に準じる内部評価の実施について職員への説明を行いました。そして、2月にアンケートを伴う内部評価(職員の自己評価)を行い、結果を集計致しました。評価の基準は1.(ほぼ)できている 2.どちらともいえない 3.(あまり)できていないの3段階です。職員の主観に基づいて回答していただきました。質問項目等は別紙をご覧ください。

3. 2月～3月間のヒヤリハット・事故報告件数について

ヒヤリハットは14件でした。センサー関連が6件と最も多く、センサー音が聞こえなかったことや訪室時に立ち上がっておられた、センサーの電源が切れており物音で訪室したなどです。居室への連れ帰り時にはセンサーの電源がオンになっているか確認するよう職員間で話し合っています。

事故報告は2件でした。居室での転倒、義歯を装着し忘れ昼食のリンゴサラダのリンゴをかじられるという内容でした。転倒事故については居室環境や福祉用具を変更して2日後のことであり、事故後に再度居室環境と福祉用具の見直しを行いました。職員間の情報共有の質や伝達速度の向上のために次年度はリスクマネジメントや環境整備などの各委員会の活動を強化していきます

4. 4月以降の主な行事や活動

詳細は別紙「暖らん便り」no.34をご覧ください。

1月は新年の抱負や書き初めなどのイベントがありました。2月は恵方巻づくりや節分がありました。新規のご利用者が調理のお好きな方なので今後は調理レクの拡充を目指していきたいと考えております。

5. 研修について

- ・感染症対策研修（1月 職員会）
- ・身体拘束研修（2月 職員会）
- ・令和6年度出雲市介護保険サービス従事者集団指導（3月 Zoom研修）
- ・令和6年度島根県介護労働懇談会（3月 Zoom研修）

6. その他 出席者コメント

委員：ヒヤリハットに関してセンサー関連が多いですね。こうした事例に関する分析や対策はどのように行っているのでしょうか。

管理者：センサーについては身体拘束委員会を中心に話し合っています。ヒヤリハットの分析に関してはリスクマネジメント委員会が行います。前年度の運営推進会議でもある程度の期間のヒヤリハットの統計を出してほしいというご意見をいただきましたので集計しております。

委員：ヒヤリハットを報告しやすい職場環境はとても良いと思います。ただ、具体策への取り組みが分かりにくいです。次回の運営推進会議ではその点を踏まえて資料を作っていただきたいです。

管理者：承知いたしました。貴重なご意見ありがとうございます。